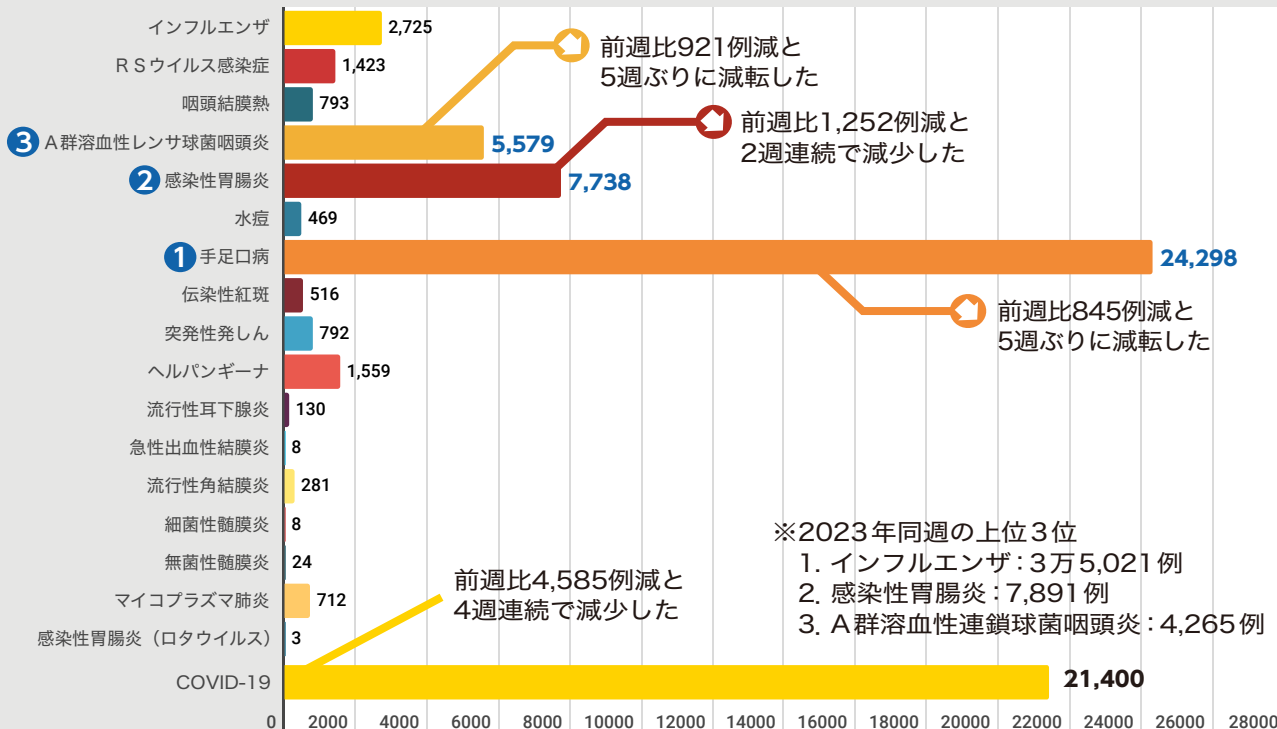




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

手足口病の流行続く、インフルも冬季拡大懸念

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 手足口病

報告数

1. 神奈川県: 2,444例
2. 東京都: 2,312例
3. 愛知県: 1,742例

定点当たりの報告数(7.77)

1. 愛媛県: 19.95
2. 富山県: 17.62
3. 宮城県: 16.09
4. 島根県: 14.18
5. 石川県: 12.66
6. 静岡県: 12.00
7. 神奈川県: 10.91
8. 山形県: 10.67
9. 福島県: 10.61
10. 山口県: 10.21
11. 長野県: 9.82
12. 岩手県: 9.65

※その他、23都府県が警報基準値(5.00)超え

② 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 729例
2. 大阪府: 540例
3. 埼玉県: 511例

定点当たりの報告数(2.47)

1. 大分県: 6.94
2. 福井県: 4.88
3. 石川県: 4.86
4. 熊本県: 4.42
5. 宮崎県: 4.19
6. 愛媛県: 3.65
7. 香川県: 3.61
8. 福岡県: 3.38
9. 鹿児島県: 3.37
10. 群馬県: 3.34
11. 鳥取県: 3.32
12. 徳島県: 3.30

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 福岡県: 516例
2. 東京都: 385例
3. 埼玉県: 357例

定点当たりの報告数(1.78)

1. 鳥取県: 6.32
2. 福岡県: 4.30
3. 茨城県: 4.25
4. 大分県: 3.14
5. 宮崎県: 3.14
6. 山口県: 2.63
7. 山形県: 2.63
8. 長崎県: 2.57
9. 熊本県: 2.54
10. 新潟県: 2.35
11. 沖縄県: 2.34
12. 千葉県: 2.30

今週の感染症動向

手足口病は5週ぶりに減転したものの、定点当たりの報告数は7.77と警報レベル(5.00)にある。愛媛県(19.95)をはじめ10県では2桁を超えており、流行が続いている。感染性胃腸炎は2週連続で減少した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は5週ぶりに減転した。マイコプラズマ肺炎の定点当たりの報告数は1.48と、過去5年間の平均に比べてかなり多い状況が続いている。特に福井県では3.33と突出して多い。COVID-19は4週連続で減少したものの、いまだ2万例を超えている。インフルエンザの定点当たりの報告数は、引き続き沖縄県が17.18と突出して多い。報告数は昨年同週(3万5,021例)と比べると10分の1以下だが、冬季にかけて感染拡大の可能性は否めない。手洗い、うがい、マスク着用に加えてワクチン接種などの対策を講じたい。